# 貸 借 対 照 表

(単位:百万円)

| 科目 ＼ 期別 | 14年3月期<br>(平成14年3月31日)<br>金額 | 13年3月期<br>(平成13年3月31日)<br>金額 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 38,809 | 56,540 | △ 17,731 |
| 現金及び預金 | 5,482 | 9,428 | △ 3,945 |
| 受取手形及び売掛金 | 23,202 | 31,261 | △ 8,059 |
| たな卸資産 | 4,710 | 5,965 | △ 1,255 |
| 未収入金 | 4,547 | 5,252 | △ 704 |
| 預け金 | － | 3,000 | △ 3,000 |
| その他 | 882 | 1,677 | △ 795 |
| 貸倒引当金 | △ 16 | △ 45 | 28 |
| 固定資産 | 26,952 | 28,408 | △ 1,456 |
| 有形固定資産 | 16,386 | 17,143 | △ 756 |
| 無形固定資産 | 498 | 431 | 66 |
| 投資その他の資産 | 10,161 | 10,919 | △ 758 |
| 貸倒引当金 | △ 93 | △ 85 | △ 8 |
| 資産合計 | 65,762 | 84,949 | △ 19,187 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 43,219 | 55,334 | △ 12,114 |
| 支払手形及び買掛金 | 13,133 | 19,550 | △ 6,416 |
| 短期借入金 | 22,733 | 24,833 | △ 2,099 |
| 1年内返済長期借入金 | 2,036 | 3,251 | △ 1,215 |
| 未払金 | 3,279 | 3,806 | △ 527 |
| 未払費用 | 1,468 | 374 | 1,093 |
| 賞与引当金 | － | 1,806 | △ 1,806 |
| その他 | 569 | 1,711 | △ 1,142 |
| 固定負債 | 12,018 | 7,431 | 4,586 |
| 長期借入金 | 9,331 | 3,767 | 5,563 |
| 退職給付引当金 | 2,379 | 3,420 | △ 1,041 |
| 役員退職給与引当金 | 246 | 242 | 3 |
| その他 | 60 | － | 60 |
| 負債合計 | 55,237 | 62,765 | △ 7,527 |
| 資本の部 | | | |
| 資本金 | 13,206 | 13,206 | － |
| 資本準備金 | 7,582 | 7,582 | － |
| 利益準備金 | 28 | － | 28 |
| その他の剰余金 | － | 1,471 | △ 1,471 |
| 欠損金 | 10,377 | － | 10,377 |
| その他有価証券評価差額金 | 87 | △ 76 | 164 |
| 自己株式 | △ 2 | － | △ 2 |
| 資本合計 | 10,524 | 22,184 | △ 11,659 |
| 負債及び資本合計 | 65,762 | 84,949 | △ 19,187 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 有利子負債残高 | 34,101 | 31,852 | 2,248 |

# 損 益 計 算 書

（単位：百万円）

| 期別 / 科目 | 14年3月期 自 平成13年4月 1日 至 平成14年3月31日 | | 13年3月期 自 平成12年4月 1日 至 平成13年3月31日 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 金額 | 対売上高比 | 金額 | 対売上高比 | | 増減率 |
| | | % | | % | | % |
| 売上高 | 84,581 | 100.0 | 104,483 | 100.0 | △ 19,902 | △ 19.0 |
| 売上原価 | 75,062 | 88.7 | 90,232 | 86.4 | △ 15,169 | △ 16.8 |
| 売上総利益 | 9,518 | 11.3 | 14,251 | 13.6 | △ 4,732 | △ 33.2 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,012 | 11.9 | 10,793 | 10.3 | △ 781 | △ 7.2 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △ 493 | △ 0.6 | 3,457 | 3.3 | △ 3,950 | － |
| 営業外収益 | 1,086 | 1.3 | 2,362 | 2.3 | △ 1,276 | △ 54.0 |
| 受取利息 | 9 | | 15 | | △ 5 | |
| 受取配当金 | 600 | | 543 | | 56 | |
| その他 | 476 | | 1,803 | | △ 1,327 | |
| 営業外費用 | 3,009 | 3.6 | 3,532 | 3.4 | △ 523 | △ 14.8 |
| 支払利息 | 328 | | 528 | | △ 200 | |
| その他 | 2,680 | | 3,003 | | △ 323 | |
| 経常利益又は経常損失(△) | △ 2,416 | △ 2.9 | 2,287 | 2.2 | △ 4,704 | － |
| 特別利益 | 150 | 0.2 | 416 | 0.4 | △ 265 | |
| 投資有価証券売却益 | 150 | | － | | 150 | |
| 技術供与収益 | － | | 300 | | △ 300 | |
| 貸倒引当金戻入益 | － | | 116 | | △ 116 | |
| 特別損失 | 9,236 | 10.9 | 1,192 | 1.1 | 8,044 | |
| 事業構造改革費用 | 7,261 | | － | | 7,261 | |
| 関係会社株式評価損 | 1,709 | | 722 | | 986 | |
| 関係会社株式売却損 | 265 | | － | | 265 | |
| ゴルフ会員権評価損 | － | | 423 | | △ 423 | |
| 投資有価証券評価損 | － | | 46 | | △ 46 | |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△) | △ 11,502 | △ 13.6 | 1,511 | 1.4 | △ 13,013 | － |
| 法人税、住民税及び事業税 | 40 | 0.0 | 40 | 0.0 | － | － |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △ 11,542 | △ 13.6 | 1,471 | 1.4 | △ 13,013 | － |
| 前期繰越利益 | 1,164 | － | － | － | 1,164 | － |
| 当期未処分利益又は当期未処理損失(△) | △ 10,377 | － | 1,471 | － | △ 11,849 | － |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 金融収支 | 281 | 0.3 | 30 | 0.0 | 251 | 832.9 |

# 損失処理案及び利益処分計算書

損失処理案

（単位：百万円）

| 期別 / 科目 | 14年3月期 金額 |
|---|---|
| 当期未処理損失 | 10,377 |
| これを次のとおり処理いたします。 | |
| 次期繰越損失 | 10,377 |

利益処分計算書

（単位：百万円）

| 期別 / 科目 | 13年3月期 金額 |
|---|---|
| 当期未処分利益 | 1,471 |
| これを次のとおり処分いたしました。 | |
| 利益準備金 | 28 |
| 配当金<br>［1株につき3円］ | 249 |
| 役員賞与金 | 30 |
| 次期繰越利益 | 1,164 |

## 重 要 な 会 計 方 針

１．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式および関連会社株式　　　移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

ａ）時価のあるもの　　　期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

ｂ）時価のないもの　　　移動平均法による原価法

２．デリバティブの評価基準及び評価方法　　　時価法

３．たな卸資産の評価基準及び評価方法　　　総平均法による原価法

４．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成１０年４月１日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法を採用しております。

５．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

６．引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

なお、会計基準変更時差異は、１０年による按分額を費用処理しております。

また、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理しており、数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法によりそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(3) 役員退職給与引当金

役員の退職金の支出に備えて、役員退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

７．リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

８．ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

市場相場変動に伴うリスクがある債権または債務をヘッジ対象として、為替予約、金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段として用いております。

(3) ヘッジ方針

市場相場変動に伴うリスクのヘッジを目的として、実需に基づく債権または債務を対象にデリバティブ取引を行っており、デリバティブ取引に関する管理規程に定めたリスク管理を実施しております。

９．消費税等の会計処理

税抜き方式によっております。

## 追　加　情　報

1．未払従業員賞与

従来、従業員に対して支給する賞与に充てるため、当事業年度の負担すべき支給見込額を「賞与引当金」として表示しておりましたが、リサーチ・センター審理情報［№15］「未払従業員賞与の財務諸表における表示科目について」（平成13年２月14日　日本公認会計士協会）が公表されたことにより、当事業年度より流動負債の「未払費用」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当事業年度に係る金額は、1,148百万円であります。

2．自己株式

従来、資産の部に計上しておりました「自己株式」は、財務諸表等規則の改正により、当期末においては、資本に対する控除項目として「資本の部」の末尾に記載しております。

なお、前期末の金額は 5百万円であり、流動資産の「その他」に含めて表示しております。

## 注　記　事　項

（貸借対照表関係）

| | （14年３月期） | （13年３月期） |
|---|---|---|
| 1．有形固定資産の減価償却累計額 | 26,873百万円 | 29,355百万円 |
| 2．関係会社に対する主な資産・負債 | | |
| 受取手形 | 418百万円 | 814百万円 |
| 売掛金 | 8,815百万円 | 11,939百万円 |
| 未収入金 | 4,031百万円 | 4,563百万円 |
| 支払手形 | 474百万円 | 903百万円 |
| 買掛金 | 6,389百万円 | 6,271百万円 |
| 3．授権株式数 | 120,000,000株 | 120,000,000株 |
| 発行済株式数 | 83,075,884株 | 83,075,884株 |
| 4．担保資産および担保付債務 | | |
| (1) 担保資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,243百万円 | 4,880百万円 |
| (2) 担保付債務 | | |
| 長期借入金 | 2,367百万円 | 4,139百万円 |
| （１年内返済予定分を含む） | | |
| 5．保証債務 | 6,419百万円 | 8,188百万円 |

6．期末日満期手形の会計処理

期末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理を行っております。

| | | |
|---|---|---|
| 受取手形 | 266百万円 | 416百万円 |
| 支払手形 | 196百万円 | 705百万円 |
| （設備関係支払手形を含む） | | |

（損益計算書関係）

| | （14年３月期） | （13年３月期） |
|---|---|---|
| 1．関係会社に関する事項 | | |
| (1) 関係会社に対する売上高 | 28,733百万円 | 40,612百万円 |
| (2) 関係会社からの商品仕入高 | 36,523百万円 | 41,956百万円 |
| (3) 関係会社からの受取配当金 | 596百万円 | 538百万円 |
| (4) 関係会社からのその他営業外収益 | 295百万円 | 346百万円 |

（リース取引関係）

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

１．リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

（14 年３月期）

| | 機械及び装置 | 車両及び運搬具 | 工具器具及び備品 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 取得価額相当額 | 590 百万円 | 18 百万円 | 531 百万円 | 1,140 百万円 |
| 減価償却累計額相当額 | 83 百万円 | 4 百万円 | 295 百万円 | 383 百万円 |
| 期末残高相当額 | 507 百万円 | 13 百万円 | 235 百万円 | 757 百万円 |

（13 年３月期）

| | 機械及び装置 | 車両及び運搬具 | 工具器具及び備品 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 取得価額相当額 | 121 百万円 | 20 百万円 | 845 百万円 | 986 百万円 |
| 減価償却累計額相当額 | 64 百万円 | 7 百万円 | 606 百万円 | 678 百万円 |
| 期末残高相当額 | 57 百万円 | 12 百万円 | 238 百万円 | 308 百万円 |

なお、取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、「支払利子込み法」により算定しております。

２．未経過リース料期末残高相当額

| | （14 年３月期） | （13 年３月期） |
|---|---|---|
| １　年　内 | 236 百万円 | 157 百万円 |
| １　年　超 | 520 百万円 | 151 百万円 |
| 計 | 757 百万円 | 308 百万円 |

なお、未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、「支払利子込み法」により算定しております。

３．支払リース料（減価償却費相当額）

| （14 年３月期） | （13 年３月期） |
|---|---|
| 224 百万円 | 226 百万円 |

４．減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

（有価証券関係）

（14 年３月期）

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

該当事項はありません。

（13 年３月期）

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

該当事項はありません。

## 重要な後発事象

いわき電子株式会社との合併について

当社は、平成14年4月1日を合併期日として、100%子会社であるいわき電子株式会社を簡易合併方式により吸収合併いたしました。また、合併期日において、いわき電子株式会社の資産・負債および権利義務の一切を引き継いでおります。なお、合併による財政状態の影響額は次のとおりであります。

| | |
|---|---|
| 資産の増加額 | 13,804百万円 |
| 負債の増加額 | 13,801百万円 |
| 純資産の増加額 | 2百万円 |

## 役員の異動

役員の異動につきましては、平成14年3月11日発表の「新経営体制の構築について」として公表済でございます。